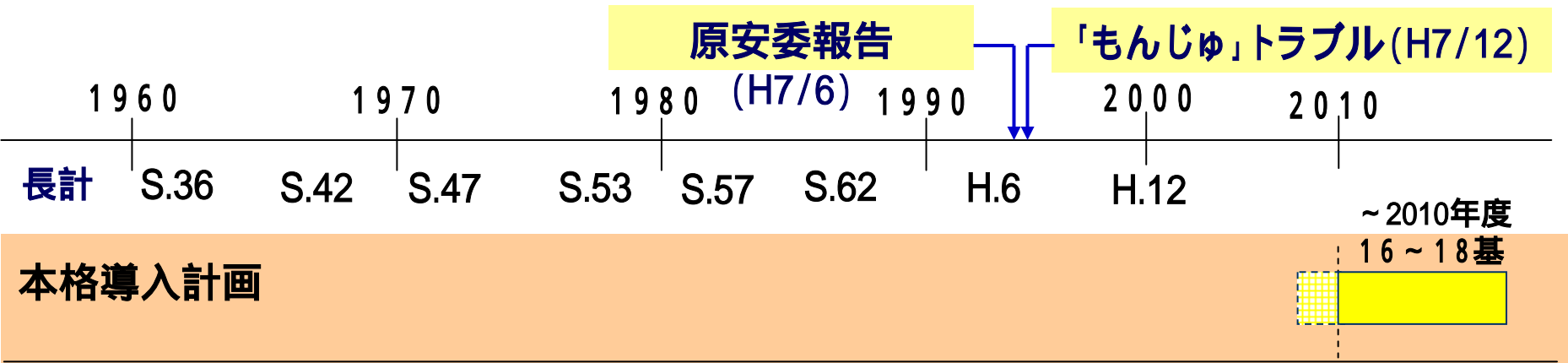


6 . 国策としてのプルサーマル の位置付け

国策としてのプルサーマルの位置付け(原子力長計)

プルサーマルは、我が国の原子力開発の当初からの国の政策



国内MOX 新型転換炉 (ATR) 実績 (Domestic MOX New type conversion reactor (ATR) achievements)

ふげん (772体) (Fugen (772 units))

国内MOX 少数体実証試験 (Domestic MOX Small scale demonstration test)

BWR (Boiling Water Reactor)

PWR (Pressurized Water Reactor)

国策としてのプルサーマルの位置付け

プルサーマルの軽水炉での利用は、原子力の開発当初から計画

- ・原子力長計において、昭和30年代の原子力開発の当初より、高速増殖炉の実用化と熱中性子炉でのプルサーマルの両方を追求

平成9年2月:閣議了解「当面の核燃料サイクルの推進について」

- ・プルサーマルを2010年頃までには全電気事業者が実施することが必要

電力会社の動き

平成9年2月:電事連公表

- ・2010年までに全国で16基～18基で実施

平成12年「原子力長計」

- ・我が国としては、プルサーマル計画を着実に推進していくことは適切であり、電気事業者には、プルサーマルを計画的かつ着実に進めることを期待

平成15年12月:電事連公表

- ・2010年度までの実施をあらためて、公表

エネルギー基本計画(平成15年10月7日 閣議決定)

- ・当面の中軸となるプルサーマルを着実に推進
- ・電気事業者には、プルサーマルを計画的かつ着実に進めることを期待
- ・プルサーマルの実現に向けて政府一体となって取り組み

原子力政策大綱(平成17年10月14日 閣議決定)

- ・使用済核燃料を再利用する「核燃料サイクル事業の推進」を継続